**活 動 報 告 書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ | 受験番号 | ＊（入力不要） |
| 氏名　　 |

* 本活動報告書は、入学選抜の資料にするほか、合格後の教職専門実習免除の可否を決定するための資料と
なります。
* 次の５つの領域別に、大学卒業後（修了後）に個人（または共同）で行った活動や研究について実施順に
その概要を記載してください。行った活動等はすべてこの５領域のいずれかに位置付けて入力してください。
それぞれの領域のねらい等は別紙を参照してください。

Ａ. 主として教育課程の編成・実施に関する領域

Ｂ. 主として教科等の指導方法に関する領域

Ｃ. 主として生徒（児童）指導・教育相談に関する領域

Ｄ. 主として学級経営・学校経営に関する領域

Ｅ. 主として学校教育・教員のあり方に関する領域

* 研究会等で発表や活動を行った場合にはその研究会名を、著書のある場合にはその書名を、雑誌論文等
は雑誌名と論文名を「 」をつけて必ず記載してください。
* 大学等での講義・講演、教育委員会等の設置した委員会等の委員、研究会等の講師等校外での活動に加え、
分掌上の役割や初任者指導、教育実習生指導など校内での活動も領域別に記載してください。
* 欄不足の場合は任意の用紙（A4）に入力してください。

|  |
| --- |
| 領域Ａ　主として教育課程の編成・実施に関する領域 |
| （学校の教育課程を把握し、それを適正に実施できる。）※期間は半角で入力 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

氏　名

|  |
| --- |
| 領域Ｂ　主として教科等の指導方法に関する領域 |
| （児童・生徒の学習状況を把握しつつ、明確なねらいをもった授業を適切に実施できる。）※期間は半角で入力 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 領域Ｃ 主として生徒（児童）指導・教育相談に関する領域 |
| （児童・生徒の問題行動等への対応が主体的かつ適切に実施できる。）（児童会活動や学校行事について、担当者として企画・調整・実施にあたれる。）※期間は半角で入力 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

氏　名

|  |
| --- |
| 領域Ｄ 主として学級経営・学校経営に関する領域 |
| （担任として、安定的に学級を経営し、保護者との信頼関係を築くことができる。）（学校の組織や協力体制に基づき、学校組織の一員として適切に校務を分掌し遂行できる。）※期間は半角で入力 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 領域Ｅ 主として学校教育・教員のあり方に関する領域 |
| （学校教育の充実・改善に向け、他の教員と協力して職務を遂行できる。）※期間は半角で入力 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |